

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 7 月 30 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 7 月 15 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	カナダ
留学先大学	ユーコン大学(日本語名) Yukon University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: リベラルアーツ 現地言語での名称: Liberal Arts ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～12 月下旬 2 学期: 1 月上旬～4 月下旬 3 学期: 5 月上旬～7 月上旬 4 学期: ～
学生数	1300 人
創立年	1983 年 (2020 年に Yukon College から Yukon University へ)

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (CAD) (1 現地通貨 = 107 円)	B 日本円	備考
授業料	1000.00	円	交換留学のため基本的な授業料は免除
宿舍費	6000.00	円	2000ドル/学期毎
食費	3000.00	円	
図書費	300.00	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	350.00	円	毎月 CAD 35.00
現地交通費	100.00	円	バス乗車毎に CAD 2.50(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000.00	円	
旅費(留学中)	3000.00	円	
被服費	200.00	円	
医療費	300.00	円	保険適用内
保険費	565.00	円	形態:
渡航旅費	4000.00	円	
ビザ申請費	235.00	円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	26,350 (=2,830,000 円)	円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：成田 目的地：ホワイトホース 経由地：バンクーバー	
復路 出発地：ホワイトホース 目的地：羽田 経由地：バンクーバー	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：Air Canada 料金：190,000 円 復路 航空会社：Air North, ANA 料金：1300.00 CAD ∴合計：250,000 円	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：それぞれの予約サイト) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：CH500) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学からの案内	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
基本的には過ごしやすく、友達を作りやすい環境です。自炊をしなければいけないので、料理道具などを調達する必要がありますが、日本食(調味料など)はある程度手に入れることができました。忙しいときに備えて、基本的な料理や簡単に作れるものを準備しておくといいと思います。寮を含めたほとんどの建物はとても暖房が利いているので、冬でも建物内では薄着で過ごすことができました。外出用に十分な服装があれば、それほど冬服をたくさん持つていく必要はなかったです。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 現地の病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 留学先大学の担当者、現地の友人)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットのニュースで情報を得たり、友達から回ってくることもありましたが、私は危険に遭遇したことはありませんでしたが、友人が車を壊され盗難されたり学校にクマが入ってきたり等が起きました。基本的な防犯対策をしたり、学校で開かれる野生動物に遭遇した際の対処法のセミナーに参加したりなど、正しい知識を持つことで危険を回避できると思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校や州全体を通してインターネットが不安定なことは何回もありましたが、概ね良好でした。多くの建物で Wifi を使えるので、それを利用することもできると思います。主要な町や市から 30 分ほどドライブすると、基本的にインターネットがない地域がほとんどです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的な支払いは日本のクレジットカードと銀行口座を使用していました。現地では念のため銀行口座を開け、友達間での送金などで役立ちました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

現在は何でもオンラインで手に入れることができるので特に困ったものはありませんでしたが、一番は食べ物が調達しにくいと思います。個人的には、乾燥わかめ、みりん、お菓子を持っておけばよかったです。寮では、シーツやタオル類がないので現地で調達するか、1 枚でも持っておくと初日は安心だと思います。基本的に日本の製品の方が安く質が高いので、現地で大量に買うことはしませんでした。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	☒ (未定) 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 履修条件やセメスター毎の下限	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Atmosphere and Climate	地球システム概論: 大気と気候
科目設置学部・研究科	Earthe Sciences
履修期間	14 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、実験(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 13 回
担当教授	Tara Howatt
授業内容	気候・天候・水循環の基本原則を学び、GIS や観測を通じて環境変化を理解する
試験・課題等	毎週のオンラインクイズ、中間・期末試験、毎週のラボのワークシート
感想を自由記入	専門用語がかなり多く、計算や細かい作業なども多いので大変でしたが、とても興味深い内容でした。外に出て地形を見ると授業の内容を思い返すことができるような現地の環境があるので、最初はあまり興味がなくても、周りの景色を観察して楽しむことができるようになりました。講義のほかに毎週 3 時間のラボを取らないと単位がもらえないので、同じ単位数でも通常の 2 倍の時間をかける必要があります。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Circumpolar World		北極圏世界概論
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts	
履修期間	14 週間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 分が 回	
担当教授	Amanda Graham, MA	
授業内容	北極圏の地理・文化・社会を幅広く学び、現代的課題への理解を深める基礎科目	
試験・課題等	毎週のレポート、期末テストもしくは期末課題	
感想を自由記入	カナダ北部だけでなく北欧やロシア北部などを含めた北極圏全体についてをテーマごとに学びました。先住民族・動植物・歴史・経済活動・自治など幅広い分野をカバーするので、様々な視点から勉強することができ面白かったです。セルフペースのオンラインですが、毎週テーマに沿ったお題について参考文献を用いながら 500 字程度のレポートをまとめる必要があり、かなり苦戦しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology		社会学概論
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts	
履修期間	14 週間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン(対面でも可)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 分が 回	
担当教授	Dr. Shawkat Shareef	
授業内容	社会学の基礎理論と研究法を学び、文化・社会化・組織など社会の基本要素を探る	
試験・課題等	毎週のディスカッション投稿、レポート×2、期末テスト、期末課題	
感想を自由記入	4 つの社会理論の基本的な考え方を学び、カナダ及び世界の社会問題などをそれらの理論を用いて分析する授業でした。日本で受けていた社会学とはかなり異なっており、一つの問題に対して様々な方向から考えることができたのでとても勉強になりました。また、貧困・人種・社会制度など多くの事柄を扱うため、カナダについて全般的に知ることができました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Academic Writing and Critical Thinking		アカデミックライティング&クリティカルシンキング
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts	
履修期間	14 週	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Elyse MacLeod	
授業内容	批判的読解と論理的思考を通じて学術的文章を書く力を養う基礎科目	
試験・課題等	授業内課題、レポート×3、ファイナルレポート、期末テスト	
感想を自由記入	コースを通して最終レポートを完成させながら、学術的レポートの書き方を学ぶ授業でした。基本的な文法から場面に応じた言語の使用法、英語でのレポートの書き方などを一から学びました。日本で英語のアカデミックレポートを書いてきましたが、それ以上に様々なルールや理論の展開の仕方などを詳しく学ぶことができ、ライティングスキルが上がったと実感できました。読み書きの量が多くて大変でしたが取ってよかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Landscapes and Natural Hazards		地球システム概論：地形と自然災害
科目設置学部・研究科	School of Science	
履修期間	14 週	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義、実験(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Mary Samolczyk	
授業内容	地形や植生・土壌の仕組みを学び、地図や空中写真、GIS を用いて自然災害や環境変化を探究する	
試験・課題等	オンラインクイズ、グループプレゼンテーション、レコーディング課題、中間・期末テスト、ラボ(180 分×14 週)	
感想を自由記入	GEOG101 に関連した授業内容で、より地形などに焦点をあてた授業でした。内容は少し難しかったですが、論文やニュースを読むこともあり日常生活と紐づけて学ぶことができました。レポートをレコーディング形式で行ったり、グループで発表することもありユニークな課題が多く、先生も質問に詳しく答えてくれるので楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
History of Yukon First Nations		ユーコン先住民族史と自治概論	
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts		
履修期間	14 週		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 分が 回		
担当教授	Gillian Staveley		
授業内容	先住民族の歴史・文化・土地請求運動を学び、自治政府成立の意義を理解する		
試験・課題等	オンラインディスカッションの投稿、プレゼンレポート、期末テスト		
感想を自由記入	ユーコンの先住民とその歴史にフォーカスした授業で、多くの読み物を用いてユーコン先住民の生活スタイルや地理、伝統文化、貿易、現代史について学びました。何よりも、先住民族史の中でも忘れてはならない西洋人による同化政策や文化破壊などの過去とその影響を深く学ぶことができたことが印象に残っています。読み物が多くて大変でしたがそれ以上に一番の学びになったと感じています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Social Problems		社会問題概論	
科目設置学部・研究科	School of Liberal Arts		
履修期間	14 週		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 180 分が 3 回		
担当教授	Dr. Shawkat Shareef		
授業内容	社会問題を理論的に分析し、カナダ社会や先住民社会に焦点を当てて検討する		
試験・課題等	レポート×2、中間・期末テスト		
感想を自由記入	SOCI100と同じく、理論を様々な事例に当てはめて検証していく授業でした。100と比べてカナダにおける社会問題を中心に取り扱いました。対面の授業だったので、オンラインとは違い教科書をもとに自分たちで要点をまとめたりディスカッションをしたりして進められました。留学生も多かったのもそれぞれの国や地域との比較をして、より理解を深められることができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Macroeconomics		マクロ経済学概論
科目設置学部・研究科	School of Business and Leadership	
履修期間	14 週	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 3 回	
担当教授	Mikhael Missakabo, PhD	
授業内容	GDP、インフレ、失業、金融政策などを学び、経済全体の仕組みを理解する	
試験・課題等	グループ課題、中間・期末テスト	
感想を自由記入	教科書をベースに、基本的な経済理論や仕組みを学ぶ授業でした。英単語はもちろん、経済をあまり勉強したことがなかったので中盤から徐々に難しく感じましたが、先生の説明はとても分かりやすく楽しかったです。テストがオンラインでしたが、問題数が多く論理的な説明を求められるものも多かったため、かなり難しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Business Communication		ビジネスコミュニケーション概論
科目設置学部・研究科	School of Business and Leadership	
履修期間	14 週	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 分が 回	
担当教授	Priyank Thatté	
授業内容	ビジネスにおける文書作成や発表を通じて、戦略的かつ効果的に伝える力を養う	
試験・課題等	モジュールごとの課題、プレゼンテーション	
感想を自由記入	ビジネスシーンにおける英語を学びたいと思い受けましたが、日常でも応用できるコミュニケーションを学ぶことができました。実践的なライティング課題が多く、プレゼンテーションは自由テーマだったの楽しく学ぶことができました。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

特になし

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

金融

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

正直、留学中は勉強が忙しく中々十分な時間を就活に費やすことができませんでした。
また、周りが就活をしていないこともあり日本の友達との温度感が全く違うため、やる気が全く失われたことも多々ありました。sns などを通じてできるだけ情報収集を行い焦りを少し持つて置くことを意識していました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	語学試験の勉強
	4 月 ～ 7 月	語学試験の勉強
	8 月 ～ 9 月	出願
	10 月 ～ 12 月	選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	現地大学への出願
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請、航空券購入、滞在先確保
	8 月 ～ 9 月	授業、交流イベント
	10 月 ～ 12 月	中間・期末試験、課題、年末年始のイベント等
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	授業、課題、中間試験
	4 月 ～ 7 月	期末試験、課題、旅行、授業、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が留学を決めた理由は、日本の外でマイノリティとして生活することで、自分のアイデンティティや生まれ育った土地について外側から見つめ直す機会を得たいと考えたからです。何の伝手もない土地で生活することは、語学力や対人能力だけでなく、自分の可能性を試す挑戦でもありました。また、離れた土地に住む人々の価値観や生き方を知ること、新たな考え方を学び、将来のビジョンを再構築するきっかけになると考えていました。

留学先としてカナダ、特にユーコン大学を選んだ理由は、英語圏で多様性を尊重する文化に触れられること、先住民族の歴史や文化を学べる環境であること、そして都市ではなく地方で生活することで自分の出身地と似た環境を体験できると考えたためです。授業ではリベラルアーツを中心に、英文学、地理、社会学、先住民族の文化や歴史など幅広い分野を学びました。特に印象に残ったのは、先住民族の歴史や文化の授業です。彼らが過去の困難や文化抑圧に直面しながらも、自らの文化を守り次世代に受け継ぐ努力を続ける姿は強く心に残りました。

留学生活では、課題や試験の量の多さ、英語でのレポート作成の難しさに直面しました。日本での学習と比べて時間も手間もかかりましたが、その分、知識や思考力が深まり、学んだことを定着させることができました。友人関係では、最初は慣れない環境に不安を感じることもありましたが、スポーツイベントやムービーナイト、パーティなど、誰でも参加できるイベントに積極的に顔を出すことで、さまざまな価値観を持つ友人を作ることができました。友人との交流を通して、自分の意見を英語で表現する力や、異なる価値観に対して柔軟に向き合う力も身につきました。

これから留学を志す方には、まず自分の心や考えに耳を傾け、初心を忘れずに自分らしさを守ることを意識してほしいと思います。また、情報収集や手続きの準備を早めに行うことで VISA や生活面でのトラブルを避けることができると思います。さらに、授業や課題だけでなく、地域の文化や自然に触れたり、友人との交流を通じて自分の視野を広げることが大切にしていました。留学は、学問だけでなく自己理解や価値観の再構築にとって貴重な経験となると確信しています。